



140-0001 東京都品川区北品川2-28-19 品川文化交流館3F tel&fax.03-3471-8610 <http://obachanchi.org/> 2021年07月発行

絵本の世界の子ども達が暮らせるまちに！

ふれあいの家-おばちゃんち 代表理事 幾島博子

外に出かけず在宅のことも多くなり、仕事や家事の合間に本や絵本を手にする時間が少し増えた気がします。先日、絵本の傑作「ねないこだれだ」、「いやだいやだ」(福音館書店)の著者せなけいこさんの最初で最後自伝的絵本「ねないこはわたし」(文芸春秋刊)を、心地よく読み終えました。「ねないこだれだ」を、我が子に読み聞かせて「早く寝ないとおばけになってしまいますよ」と、しつけに使った方も少なくないと思いますが、せなさんの意図は全く違っていたようです。「おばけは怖いけれど、かわいい、そんなおばけ描いたらよろこぶかしら」から生まれた絵本だそうです。ご自分自身「それならわたしもねないでまとう。おばけのせかいへとんでいこう」「ねないこはわたし」と締めくくっています。思わずにんまりして最後のページを閉じました。

寝ないばかりでなく、なんでも「いやだ」だったり、にんじんを食べなかったり、せなさんの絵本には「良い子」ではない子どもらしい子がたくさん登場します。そうだ、私が好きな絵本の主人公は大人に都合のよい「良い子」ではなく、自由奔放で、大人を困らせたり、我が道を行く子や、いたずら名人の子なのだなと思いました。

一番好きな絵本は？と聞かれたら迷わず「こねこのびっち」(岩波書店)と答えますが、びっちは兄弟と別行動をとり、他の動物のまねをして病気になる猫。さらに大好きな絵本「ひとまねごころ」(岩波書店)のジョージは知りたがり屋さんで問題ばかり起こしています。「おでかけのまえに」(福音館書店)のあやこは、朝からお弁当をぐちゃぐちゃに詰めたり、お化粧したり、転んで服

を汚したり・・・(怒らないお母さんお父さんが偉すぎる!)、「きつとみんなよろこぶよ」(評論社)は、兄弟だけで留守番中に大胆に一軒家のペンキ塗りをやり遂げるお話。みんななんて子どもらしく魅力的なのでしょう。他にもたくさん絵本や児童書が浮かんできます。

こんな絵本の世界の子ども(や動物)のように、自分の中から湧き出る「やってみよう」「どうなるだろう」が毎日繰り広げられる子どもの暮らしや学び、遊びの環境があることを当たり前にしていきたい、そんなまちにしていきたいと、あらためて思っています。



会員状況 (2021/5/31)

正会員42 支援会員93 賛助会員4 合計139名

寄付や会費のお振込は

NPO法人ふれあいの家-おばちゃんち

◆郵便局から>郵便振替 00120-3 583720

◆郵便局以外の金融機関から>

銀行名 ゆうちょ銀行 金融機関コード 9900

店番 019 預金種目 当座

店名 〇一九 店(ゼロイチキユウ店)

口座番号 0583720

◆クレジットカード・コンビニ・キャリア決済は

STORES(ネットショップ)から>

<https://obachanchi.stores.jp>



ご寄付ありがとうございました

金崎久一様、鈴木美紀子様、イオンリテール株式会社、山田巴様、他匿名希望8件
(5月末現在・順不同)

目次



140-0001 東京都品川区北品川2-28-19 品川文化交流館3F tel&fax.03-3471-8610 <http://obachanchi.org/> 2021年07月発行

絵本の世界の子ども達が暮らせるまちに！

ふれあいの家-おばちゃんち 代表理事 幾島博子

外に出かけず在宅のことも多くなり、仕事や家事の合間に本や絵本を手にする時間が少し増えた気がします。先日、絵本の傑作「ねないこだれだ」、「いやだいやだ」（福音館書店）の著者せなけいこさんの最初で最後自伝的絵本「ねないこはわたし」（文芸春秋刊）を、心地よく読み終えました。「ねないこだれだ」を、我が子に読み聞かせて「早く寝ないとおばけになってしまいますよ」と、しつげに使った方も少なくないと思いますが、せなさんの意図は全く違っていたようです。「おばけは怖いけれど、かわいい、そんなおばけ描いたらよろこぶかしら」から生まれた絵本だそうです。ご自分自身「それならわたしもねないでまとう。おばけのせかいへとんでいこう」「ねないこはわたし」と締めくくっています。思わずにんまりして最後のページを閉じました。

寝ないばかりでなく、なんでも「いやだ」だったり、にんじんを食べなかったり、せなさんの絵本には「良い子」ではない子どもらしい子がたくさん登場します。そうだ、私が好きな絵本の主人公は大人に都合のよい「良い子」ではなく、自由奔放で、大人を困らせたり、我が道を行く子や、いたずら名人の子なのだなと思いました。

一番好きな絵本は？と聞かれたら迷わず「こねこのびっち」（岩波書店）と答えますが、びっちは兄弟と別行動をとり、他の動物のまねをして病気になってしまい、みんなにお見舞してもらうような猫。さらに大好きな絵本「ひとまねこざる」（岩波書店）のジョージは知りたがり屋さんで問題ばかり起こしています。「おでかけのまえに」（福音館書店）のあやこは、朝からお弁当をぐちゃぐちゃに詰めたり、お化粧したり、転んで服

を汚したり・・・（怒らないお母さんお父さんが偉すぎる！）、「きつとみんなよろこぶよ」（評論社）は、兄弟だけで留守番中に大胆に一軒家のペンキ塗りをやり遂げるお話。みんななんて子どもらしく魅力的なのでしょう。他にもたくさんの絵本や児童書が浮かんできます。

こんな絵本の世界の子ども（や動物）のように、自分の中から湧き出る「やってみよう」「どうなるだろう」が毎日繰り広げられる子どもの暮らしや学び、遊びの環境があることを当たり前にしていきたい、そんなまちにしていきたいと、あらためて思っています。



会員状況 (2021/5/31)

正会員42 支援会員93 賛助会員4 合計139名

寄付や会費のお振込は

NPO法人ふれあいの家-おばちゃんち

◆郵便局から>郵便振替 00120-3 583720

◆郵便局以外の金融機関から>

銀行名 ゆうちょ銀行 金融機関コード 9900

店番 019 預金種目 当座

店名 〇一九 店(ゼロイチキユウ店)

口座番号 0583720

◆クレジットカード・コンビニ・キャリア決済は

STORES(ネットショップ)から>

<https://obachanchi.stores.jp>



ご寄付ありがとうございました

金崎久一様、鈴木美紀子様、イオンリテール株式会社、山田巴様、他匿名希望8件

(5月末現在・順不同)



コロナ禍での 子どもたちの現場は今

2020年4月の緊急事態宣言発令が出て以来、子ども達を取り巻く環境はどの様に変化してきたでしょうか？実際に接している現場からの生の声を聞いてみました。



子育て広場の現場から

2020年4月から度重なる緊急事態宣言やひろば会場の休館で、一度は止まってしまった子育てひろば開催。持ち寄りランチ、1部屋に集まってお茶しながらワイワイ、風船を口でふくらませて飛ばし大会、大きな声で笑ってスキンシップをとってなどなど、子どもも大人も楽しかったこと、日常だったことができなくなり、どうしたらひろばを楽しめる癒しの場として再開できるのかと考えさせられました。

読む親子、赤ちゃん心地よく過ごそうと色々持ち出してみる工夫、今までとは違う場所やコミュニティに興味をもって入っていく場面、お父さんやおばあちゃんとも遊びにこられる機会など、場所や状況やルールが変わっても、天才的に楽しい遊びをつくり出し続けることもたちに勇気づけられながら、大人も柔軟に新しく♪

どうしても予約制が増えがちですが、どんな気分の時もフラッと立ち寄れる気楽な場所を大切に、みんなで考え続けていきたいです。

変わったこと

- マスク、手洗い、消毒が必要になった
- 空に集まって話したり遊んだりできなくなった
- 誰かと一緒に食事をするのができなくなった
- 外出するのに、迷い、気遣い、対策など、考えることが増えた
- 気軽に誘い合ったり、助け合ったり、速く遊びに行ったりしにくくなった

▲コロナ禍で変わったこと（職員研修の資料より）

しかし、そこでポイントだったのが、楽しいや癒しは、コミュニケーションをとる中から生まれるのではないか？ということでした。今までどおりにはできないけれど、お部屋を複数用意したり、戸外でも過ごしやすいようにしたり、誰もが抱えている新しい不安を開催側利用側わげずに出しやすいようにしたりと、工夫しながら、再開できることから再開することに意味がありました。子どもも大人も、まずは会って話しながら少しずつ新しい形のひろばを作っていくということ自体が、楽しくて癒しの場になっているなど感じています。

今までになかった困りごとや迷いは増えているけれど、楽しみ方や心地よい時間の過ごし方も増えつつあると感じます。お外でのんびり絵本を



◀風通しよくなりましたら新しい遊びも♪

▼外でも母たちは絵本を読むのが自然に



▶子どもたちは大層的
に遊びます

ふれあい広場 ほっと・サロン にじっこ
～赤ちゃんから 大人まで、こどもの笑顔を真ん中に～



あずかり広場の現場から

おばちゃんちのあずかり広場、ほっぺ・わっこも新型コロナの影響を受けました。

2020年春の1回目の緊急事態宣言中はあずかり保育も一時中止して留守番電話等での対応。緊急事態宣言が明けてからも、どのような形で安心して保育ができるのか、スタッフ内で何回も話し合いを重ねました。お母さんたちの気持ちには寄り添いたい、あずける場所が見つからず困っている方はいる。とはいえ、小さいお子さんと三密を避けることは難しく、以前のような保育をしていたら感染のリスクは避けられない。どうしたら感染リスクをできるだけなくし、安全にあずかり保育を続けられるかを考えました。



あずかり広場 ほっぺ わっこ

そして、コロナ禍でのあずかりは次のような方針にしました。

- ◎唾液からの感染が多い⇒施設内での食事はなし
- ◎長時間密な場合に感染が多い
⇒できるだけ短時間での利用
- ◎子どもの人数が多いと密になりやすい
⇒あずかり理由を聞きながら、お子さんが重ならないように予約を受ける

それでもあずかりがスタートしても悩むことばかりでした。消毒の問題やマスクをとしての保育。これで子どもたちに安心感を届けられるのか。試行錯誤のコロナ禍での保育をでしたが、やはり、子どもたちの笑顔には癒されます。利用者さんたちのいろいろな思いに寄り添うことができた時には、おばちゃんちをやっていてよかったなと思いました。『できることをできるだけ』を大切にしながら、少しでもお役に立てたらと、そんな思いでこれからもみなさんのそばにいたいと思っています。

2020年の
▼メッセのチラシ



今だからこそ開催したい！ 品川子育てメッセ

コロナ禍、すべてが止まり、世界中が生活をえざるをえなかった中、親子と子育て支援団体が一堂に集まるイベントである子育てメッセを行うなんて、当初は考えられませんでした。しかし、子育ては止まるわけにはいかず、逆にこの新しい状況に悩みや迷い、不安は増えるばかり。コロナ禍だからこそ、生きた情報やつながりが必要だと感じ、異例の2ヶ月前という直前に2020年の第13回品川子育てメッセの準備をスタートしました。そして、たくさんの方のご協力のもと、初めてのオンラインでのメッセが開催されました。メインステージでの歌や手遊び、区内で活動する子育て支援団体の紹介、子育てに関する様々な相談コーナーやお話会や交流会などオンラインでもたくさんの方々に参加、視聴していただきました。今まで情報が届けられなかった方にも届ける可能性に一步踏み出せたメッセ。



ふれあいの家-おばちゃんちニュースレター vol.42

しかし、やはり顔と顔を合わせてあたたかい生きた情報やつながりを届けたい...そんな両方の思いを抱えながら、状況にあったあたたかいメッセを今年も作ってきたいと思います。



第14回 品川子育てメッセ
2021年10月22日(金) 10:30~15:30(予定)
「よりつながれる一步」を目指して、企画中!!
当日、お楽しみに♪
●詳細はこちら <http://s-messe.com/>



冒険遊び場から



昨年品川の子どもたちの放課後の生活の調査を行いました。4つの小学校にご協力を頂き、1700人の子どもたちが、答えてくれました。そこで分かったのが、平日一日も外で遊ばない子どもたちが、半数いるということでした。予想はしていましたが、とてもショックでした。そして迎えた、この新型コロナウイルスの世界的大流行。外に行くのが怖いという子どももあらわれました。

子どもたちは外で遊ばなくなってしまう。そんな未来が待っているのでしょうか。しかし子どもにとって遊ぶことは、1番大切なこと。遊びによって元気を得、心を癒すこともできます。そして外で遊ぶことで自然やまちの人から様々なことを学んできたのです。私たちは少々暗い気持ちになっていました。

そんな中、6月22日やっことども冒険ひろばが再開することになりました。

再開初日は雨の月曜日。

雨の中、私たちが立てた看板を読んでいるご夫婦がいました。子どもたちが密にならないよう入場者数を管理するため迂回路の通行をお願いする案内です。



北浜だより2020年 なつ号 No.121より

「やっ」と規模を縮小して開園出来たのですが、まちの方にはご不便をおかけしてしまいすみません」と私は頭を下げました。

すると「大丈夫ですよ。本当に感謝してるんです。孫もお世話になっているんですよ」とおっしゃってくださりニコニコ笑って通り過ぎて行かれました。

迂回路を通る多くの方に、私はお声かけしていません。初めてお会いする方だと思い話しかけると、私たちの日々の姿を見ていた方がほとんどでした。そして、優しい言葉を返してくれるのです。つくづくこの北浜がまちのみなさまに応援されていることを実感しました。

水曜日。やっとお日様が見えてきました。子どもたちが一人また一人とやっできます。今まで出来なかった遊びをやろうと、ブランコを作り出す中学生。泥団子をつくろうと、ふるいを持っていった小学1年生。土を振るって見つけた、光り輝く黒い石。やがて中学生も一緒になって、大きな穴が掘られ、振りわけられた、石を取り出し洗う子どもたち。「これは火山岩じゃない?」「富士山が普噴火したんだよ」「でも関東ローム層は黄土色なんじゃない?」

この探究心。次々に生まれる謎。そしてチャレンジ。これこそが、未来を切り開いていく扉になるのです。子どもってすごい!これからもコロナに負けず子どもの自由な遊びを大切にしていこう。「ほらここ光ってる」と一人の子どもが石を見せに来てくれました。

そこには未来が埋まっています。

北浜こども冒険ひろば

2020年度は、コロナウイルス感染対策による緊急事態宣言下でのスタートとなりました。

2020年3月から5月までは閉園し、スタッフが交代で勤務しました。緊急事態宣言が解除になった6月からは平日のみの縮小開園、9月より土日祝日も開園する流れとなり、区との話し合いにより、ひろば内の来園者数の目安を定め、受付を設け、おまもりカード(連絡票)を記入してもらい、などの感染対策を1年間続けました(2021年度現在も続けています)。たき火、木工作はしばらくお休みしましたが、現在では状況をみながら少しずつ再開しています。感染症対策のため、いままですり再開できないことにかえて子どもたちのあそびは、より自然物

(土、生きもの、落ち葉など)と、からだを使っのあそびが中心になっているようにも感じられました。自分たちの生活の中に、身近なところに何かがあるのか、子どもたちの育ちには何が必要なのかを大人たちも考えるところとなり、その中で、活き活きと遊ぶ子どもたちの姿から多くのことを学びました。

そのことをプレイヤーカーがオンラインの講座で発信し、子どもと関わる人たちの共感を得ることもできました。様々な困難に立ち向かうなか、ひろばであそぶ子どもも大人も「つくり手」であり、共に考え知恵を出し合う仲間であるという関係づくりを、より一層高めていけたらと思っています。

しながわこども冒険ひろば



ふれあいの家-おばちゃんちニュースレター vol.42



ニュースレター 42 \\ \\



学校の現場から

最初の緊急事態宣言から1年3か月。
品川区内の小中学校では2021年4月、子どもたち全員にタブレットが配られ、様々な形で活用されるなど学習の形態も学校生活も大きく変わってきました。文部科学省から出された改訂版『学校の新しい生活様式』に準じて消毒や換気、手洗いなどへの注意喚起は継続しており、給食は始まっていますが、会話の無い「黙食」となっています。

また運動会なども各学年ごと1時間ずつ（時期により緩和されている）という状況で開催されています。タブレットの活用状況は学校によってかなり差がありますが、宿題の提出をタブレットから送信したりということも始まっており、保護者会など様々な場面での利用が広がっています。

そのような中、何よりも心を寄せるべきは、『子どもの気持ち』であり、今の学校の状況が、子ども自身も気づかぬうちに心への負担として積み重なってきている点ではないでしょうか。

国立成育医療研究センターが行った【コロナ×子どもアンケート】子どもが考えた「気持ちを楽にする23のくふう」では、アンケートに協力した全国の子どもの「お気に入りのストレス発散方法」が紹介されており、「だれかに話す、聞いてもらう」、「声に出す」、「書き出す」など大人が読んでもハッとさせられる内容となっています。

周りの大人たちも、これまで以上に子どもたちの様子をよく見て、話しかけていくことが大切だと思います。すぐには心を聞いてくれなくても、「心配しているよ」「気にかけているよ」というメッセージを伝え続けながら、子どもたちが元気でいられるよう関わっていきましょう。

2021年10月1日～3月31日のコロナ禍
期間中に品川区で実施された
「コロナ×子どもアンケート」
から、子どもたちが考えた
23のくふうをご紹介します。

※アンケート結果はあくまでも
人によって異なります。
※アンケート結果はあくまでも
人によって異なります。
※アンケート結果はあくまでも
人によって異なります。

1. だれかに話す
聞いてもらう

・自分のよい人は話す（母、先生）
・おどくに聞いてもらう（小4、中学生）
・安心できる人に話す（母、先生）
・高学年に話す（小学生にコロナで）（小4、中学生）
・おどくに話す（おどくにコロナで）（小4、中学生）
・先生に話しかけてもらう（小4、中学生）
・先生に話しかけてもらう（小4、中学生）

▲国立成育医療研究センター
【コロナ×子どもアンケート】より抜粋



子どもたちの居場所から

「子ども若者応援フリースペース」、そこは学校や社会で「いざづらさ」を感じている子ども・若者も「自分らしく居られる場所」。何かやりたいことができる、でも何もなくてもいい、大切なことは寄り添ってくれるスタッフや仲間がいて、心が安定していただけること。

2016年5月「子ども若者応援ネットワーク」として品川区の委託事業で週1日短時間開設をしたころから、おばちゃんちもその運営に関わる一団体でした。その後占有できる場に移転し、開設日、時間も大幅に増え、利用者も増えました。昨年春からは、コロナ禍で十分な開設はできていませんが、そんな中、5月に新しい場所に移りました。今までは一部屋でしたが、再移転した場所は階層も部屋も分かれていて、その部屋ごとにもっと様々な活動ができそうです。とは言っても、スタッフがプログラムを用意する場ではないので、そこに来た子どもと若者が自ら過ごしたいように過ごせる「居場所」なのです。利用したい本人、保護者が相談することもできます。事業所というよりも誰かの家のような雰囲気のことを、訪ねてみませんか？

ふれあいの家-おばちゃんちニュースレター vol.42

「学校に行きたくないな」という我が子はどう受け止めますか？声をかけますか？似た様な立場の保護者同士でおしゃべりすれば、気持ちが軽くなったり、何か糸口が見つかるかもしれませんね。ぜひご参加ください。

- 開催日：
小学生編：第2火曜日 中学生編：第4火曜日
- 時間：10時～12時
- 会場：子ども若者応援フリースペース
(品川区西品川1-16-2ファミリーユース品川)
- 参加費：無料
内容：フリートーク、ワークショップ等
対象：登校しぶりや不登校その心配がある小中学生保護者
定員：10名程度（先着）
申込：初めての参加の前にメールかFAXで連絡ください
電話：03-6421-5471
メールフォーム
<https://forms.gle/gP2qfvQVhv4GEJBA>
にアクセスしてください！！

運営：子ども若者応援ネットワーク

「東京都子ども基本条例」を知っていますか？

2021年3月26日東京都議会本会議にて、「東京都子ども基本条例」が可決成立しました。メディアではあまり大きく報道されず、都議会議員選挙間近ということもあってか、この条例が制定されたことからの都政の新しい動きはまだまだ見えてきていません。しかし、この条例がこれから品川区を含む東京都の子どもの暮らしや、子どもに関わる仕組み、大人のあり方に大きな影響をもたらすことは間違いないでしょう。

この「子ども基本条例」は、東京都議会議員の議員提案条例として議会に提案されました。その後修正案が出され、審議を経て『全会派一致』で可決成立しました。

その内容は、1989年に国連採択、1994年に日本も批准した「子どもの権利条約」の精神に則ったものとなっています。日本が権利条約を批准した後、その精神に則った条例が川崎市を皮切りに作られてきていますが、なかなか多くの自治体には広がっていきにくいように感じていました。

一方、2016年に国の児童福祉法が改正されて「子どもの権利条約に基づく理念」がそこに明記されました。また子どもの貧困問題や児童虐待も年々深刻化し、そのこともある意味影響し、今回の条例が『全会派一致』で成立したとも言えそうです。

条例には子どもの4つの権利（下記参照）が明記されています。都議選後の都政の動きから目を離せませんが、日々の子どもの暮らしや子どもに関わる

仕組み、大人のあり方の中で、この権利が本当に大切にされていくようになるには、都民一人一人の意識や行動が欠かせないのだと思います。また、子ども自身がこの条例を我がこととして知る機会をしっかりと作り、子ども自身が参加、意見表明できるようになること、子どもにとって身近な相談、救済、回復の仕組みも作っていかねば、条例は絵に描いた餅になってしまうでしょう。

条例全文は東京都のHPで読むことができます。まずは大人が知り、身近な子どもに伝えていく、そんなきっかけになればと思います。



東京都子ども基本条例（一部抜粋）

【基本理念】

第三条 子どもの権利条約の精神にのっとり、子どもを権利の主体として尊重し、子どもの最善の利益を最優先とすることで、全ての子どもが、今と将来への希望を持って伸び伸びと健やかに育っていけるよう、社会全体で子どもを育む環境を整備していかねばならない。

【子どもの権利】

第四条 都は、子どもの権利条約を踏まえ、子どもの生きる権利、育つ権利、守られる権利及び参加する権利をはじめとした、子どもの権利を尊重し、擁護するための施策を推進するものとする。

【子どもの遊び場、居場所づくり】

第七条 都は、子どもが伸び伸びと健やかに育つことができるよう、特別区及び市町村と連携して、子どもが過ごしやすい遊び場や居場所づくりなど、環境の整備を図るものとする。

検索➡東京都子ども基本条例

<https://www.gikai.metro.tokyo.jp/bill/2021/crights.html>





活動報告

そとあそびわくわく講座 子どもへのまなざし

冒険ひろばのプレイワーカーが講師となって、子どもへのまなざしを語り、遊びを見守るコツを共に考える3回連続講座が2020年3月に無事終了しました。

初めてのオンライン開催。日ごろから冒険ひろばに遊びに来ている子の保護者の皆さんをはじめ、北は青森から南は大分まで、全国各地の子育て中の方、子どもに関わる仕事・活動をされている方が参加してくださいました。

オンラインながらもたくさんの質問や発言がありました。そして多くの方が、子どもが遊ぶことを通してのびのび育てていけることを願い、日々悩みながらも試行錯誤していることを

発表し、講座後の北浜では、受講したママたちが子どもの遊びをどう見守るか、感想を語らう姿も。そんな、子どもを思う人たちのつながりやまなざしが、きっと子どもたちにもじんわり温かく伝わっていくはず。今回の講座が、そういったひろがりによって少しでもつながっているといいな、と感じました。



職員向け内部研修

2021年6月。色々な規制や制限のあるコロナ禍の生活において「乳幼児の親子、子どもたちの現状や困っていること」をテーマにおばちゃんちのスタッフ内でZoomでの研修を行いました。

人と会えない話せないつらさ、逆に会うことへの恐怖、周囲の目、そして私たちスタッフの気持ち。コロナ禍で今までには経験したことがない様々な問題が生まれてきていることがわかりました。オンラインでの研修でしたがなかなかみんなで顔を合わせることができない中、それぞれ気持ちや各現場での現状などを話し合い、またスタッフ間の交流もでき大変有意義な時間となりました。困った時に相談できる場所、おばちゃん&おじちゃんでありたいと再認識しました。

オンライン総会開催

5月16日(日)に2021年度のおばちゃんち定期総会を行いました。Zoomを使った初めてのオンライン総会でしたが、事前にシミュレーションを行ったので、当日は大きな配信トラブルもなく無事終わることができました。

画面越しではありますが、久しぶりに正会員の皆さんと顔を合わせて意見交換ができ、とても有意義な時間となりました。オンラインでもできることに嬉しさを感じつつも、いつか直接会えることを心待ちにしたいと思います。

イオン イエローレシートキャンペーン報告

今年もイオン幸せの黄色いレシートキャンペーンで、ギフトカードをいただきました。さっそく子ども用おもちゃ(絵本、文房具、シールなど)や衛生用品など、おばちゃんちの活動に必要なものを購入しました。ありがとうございました！

現在は感染拡大防止のため店頭に立っての直接の呼びかけは出来ませんが、毎月11日にイオン品川シーサイド店でキャンペーンは実施されています。

お買い物の際にはご協力いただくと嬉しいです。また店頭に立てるようになりましたら、気軽に声をかけくださいね。



おばちゃんち 活動予定

おばちゃんちからのお知らせは、twitterやfacebook、Instagramでもチェック！
<http://obachanchi.org>



1.開催日:毎週月曜日
 (祝日は休みます)
 2.時間:13時から15時
 3.参加費:1家族100円
 親子でお出かけください

みこちゃんち
 会場:品川宿おばちゃんち
 (品川区北品川2-19-6)

おへや

しょうちゃんち
 会場:昭和通りおばちゃんち
 (品川区西中延2-18-1)

おへや

おそと

しながわこども 冒険ひろば

- 1.開催日:月火水土日
(木・金休、祝日は開園します)
- 2.時間:10時半から17時半
- 3.会場:しながわ区民公園・
しながわこども冒険ひろば
(品川区勝島3-2-2)
- 4.参加費:無料

乳幼児親子ひろば そとぼ～よ!

毎週火曜日 10時半から14時
 子どもたちに思いっきり外あそびを楽しんでほしい!0歳からの初めての外あそびをサポートします!

おそと

北浜こども 冒険ひろば

- 1.開催日:月火水木金土
(日・祝休)
- 2.時間:14時から18時
※第1・3水曜日は11時開園
- 3.会場:北浜公園・
北浜こども冒険ひろば
(品川区北品川2-28)
- 4.参加費:無料

お外であそぼう!

第1・3水曜日 11時から14時
 よちよち、とことこ。お外で遊ぶ。おともと一緒に、お外で遊ぶ。月に2回の「お外であそぼう!」おしゃべり、日向ぼっこ!北浜でのんびりじかんを過ごしませんか?

ほっと・サロン@八潮 にじっこ

- 1.開催日:祝日を除く毎週木曜日
- 2.時間:13時半から15時半
- 3.会場:こみゆにていづらぎ八潮1F
託児室(品川区八潮5-9-11)
- 4.参加費:1家族100円(初回無料)

おへや

おそと



サポーター派遣保育

えくぼ



自主サークルや団体が講座や講演会などを行っている間のグループ保育に、おばちゃんちの認定保育サポーターを派遣します。活動の主旨などによりご利用条件が異なります。詳しくはお問い合わせ下さい。

あずかり
な場

※2021年5月現在、新型コロナの感染拡大防止対策として、差し支えない範囲で事情をお伺いし個別に対応をしています。基本的に、昼食をはさむ長時間のお預かりは、お受けしていません

「品川宿おばちゃんち」

ほっぺ

「昭和通りおばちゃんち」

わっこ

tel.03-5463-6458
品川区北品川2-19-6

tel.03-5749-3212
品川区西中延2-18-1

月曜から土曜までの、9時から17時まで(土曜は予約状況で変更することがあります)、おばちゃんち年会費2500円で両方の施設をご利用いただけます。理由はとれません。
 4時間までの基本保育料は、品川区在住在勤の方は1時間500円、4時間を超える延長保育は1時間600円になります
 ***区外の方はご利用条件が異なります。詳しくはそれぞれ左記電話番号へお問い合わせ下さい

よろず相談「メールえがお」 どんな小さなことでもだいじょうぶ。連絡して下さい!
 メールいくちゃんち ikuchan@obachanchi.org メールこまちゃんち komazaki_k@obachanchi.org

ふれあいの家—おばちゃんち ニュースレターvol.42 (2021年07月発行)

著 obachanchi

制作 Puboo
発行所 デザインエッグ株式会社
